

地震一口メモ No. 194

9月1日は「防災の日」

災害への備え、地震に伴う大規模火災への備えを再確認しましょう

9月1日は「防災の日」です。また、8月30日から9月5日は「防災週間」です。防災の日、防災週間は、台風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波等の災害についての認識を深め、これに対する備えを充実強化することで、災害の未然防止と被害の軽減をするための期間です。9月1日は、暦では二百十日（にひゃくとおか）頃にあたります。二百十日は立春から数えて210日目の日で、古来より台風襲来の時期とされてきました。1959年の9月26日の伊勢湾台風は、台風災害としては明治以降最多の死者・行方不明者5,098人となる被害をもたらした。その教訓を生かすため、二百十日に設置されたのが「防災の日」です。

防災の日が9月1日となったのは、1923年の同じ日に関東大震災が発生したことにも由来します。関東大震災は、マグニチュード7.9の巨大地震で、死者は105,385人にもものぼり甚大な被害をもたらしました。その犠牲者の9割近くは火災によって亡くなりました。地震が正午2分前に起こったため、昼食時の火の使用と重なったこともあって倒壊した家屋から次々と出火しました。さらに、台風から変わった低気圧が日本海側を通過していて関東に強風が吹いたことが火災を拡大させました。

1995年の阪神・淡路大震災、2011年の東日本大震災でも大規模火災が発生しています。大阪でも火災を伴う地震が発生する可能性があります。特に古い木造住宅の密集地では、大規模火災の危険性が高くなります。また、そのような住宅密集地では避難場所までの道路に人が集中して、逃げている間に炎が襲ってくる危険もあります。地震の揺れから身を守ったとしても、その後に火災の脅威があることを覚えておいてください。お住いの地域の火災の危険性を把握するとともに、地震が起こった際の避難場所・避難すべきタイミングを考えておいたり、火災を起こさない・広げないためにできる対策を今からしておくことが大事です。

防災の日や防災週間には、防災訓練なども実施されます。大阪府では、9月3日に大阪880万人訓練が実施されます。13時30分に南海トラフ巨大地震が発生した想定で、エリアメール／緊急速報メールが配信されます。皆様も訓練に参加してみたいはいかがでしょうか。また、訓練当日だけでなく訓練の前後に、地震が発生した際に身の回りで起こりうる火災、津波、山崩れなどの被害を想像し、どのように命を守る行動するか、被害を少なくするために今からできることは何か考えてみてください。



阪神・淡路大震災で
焼失した地域
(神戸市須磨区寺田町)